



2025年12月12日

各 位

会 社 名 株式会社 フィットクルー
代 表 者 名 代表取締役社長 鹿島 紘樹
(コード番号: 469A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 常務取締役 矢野 佑樹
(TEL 06-6131-9937)

東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2025年12月12日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

2025年11月期（2024年12月1日から2025年11月30日）における当社の業績予想は、次のとおりであります。また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりであります。

【個別】

(単位: 百万円、%)

項目 決算期	2025年11月期 (予想)		2025年11月期 第3四半期累計期間 (実績)		2024年11月期 (実績)	
	対売上 高比率	対前期 増減率	対売上 高比率	対売上 高比率	対売上 高比率	対売上 高比率
売 上 高	2,947	100.0	20.1	2,127	100.0	2,454
営 業 利 益	290	9.8	157.1	152	7.2	112
経 常 利 益	283	9.6	157.9	149	7.0	109
当期(四半期) 純利益	261	8.9	491.3	155	7.3	44
1株当たり当期(四半期)純利益	277円00銭		164円63銭		46円13銭	
1株当たり配当金	0円00銭		-		0円00銭	

(注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。

2. 2024年11月期(実績)、2025年11月期第3四半期累計期間(実績)及び2025年11月期(予想)の1株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。なお、当社は、基準日(2025年11月30日)を超えての新株発行となることから2025年11月期(予想)において、発行済株式総数の増加は見込んでおりません。

【2025年11月期業績予想の前提条件】

1. 当社の見通し

当社は、「フィットネスで社会を明るくする」を企業理念として掲げ、パーソナルトレーニングを通じて、一人一人のお客様のお悩みに向き合い、お客様と一緒に改善に取り組み、心身共に健康で笑顔溢れる社会づくりに貢献すべく事業活動に取り組んでおります。

企業理念を実現するため、当社の存在意義を「顧客の望みを叶える」とし、女性専用のパーソナルトレーニングジムであり短期集中型の「UNDEUX SUPERBODY」、もっと身近に、手軽にサービスをご利用頂ける「UNDEUX SUPERBODY LIFE」、健康問題をトレーニングと食事指導で改善を目指す「Dr. plus Fit」を展開しております、また、パーソナルトレーナーの育成を行う「プロジェクト」を展開しております。このような複数のサービスを展開することで、社会にフィットネスを普及させ、社会を明るくすることに貢献してまいります。

当社が属するフィットネス市場は人々の健康意識向上に伴い、コロナ禍を経て、より一層拡大していくことを予想しております。低価格帯ジムが急拡大している一方で、フィットネスクラブの倒産が急増していることから、他社との差別化による顧客のニーズに合ったサービスを提供していくことが求められており、この点、当社はパーソナルトレーニングジムを専業として長年築いてきたノウハウと、パーソナルトレーナーの育成を行う「プロジェクト」のノウハウを活用して人材育成を行うことで、高い品質のサービスを提供することにより、競争優位性を維持できると考えております。

当社はさらなる事業拡大のため、新規出店により会員数を拡大してまいります。2025年11月期第3四半期累計期間（2024年12月1日～2025年8月31日）は「UNDEUX SUPERBODY」を4店舗、「UNDEUX SUPERBODY LIFE」を2店舗、「Dr. plus Fit」を1店舗、合計7店舗の新規出店を行い、当第3四半期会計期間末時点のパーソナルトレーニングジムの総店舗数は49店舗となりました。

この結果、2025年11月期第3四半期累計期間（2024年12月1日～2025年8月31日）実績は売上高2,127,326千円、営業利益152,101千円、経常利益149,677千円、四半期純利益155,658千円となっております。また、2025年11月期の業績予想は売上高2,947,974千円（前期比20.1%増）、営業利益290,333千円（同157.1%増）、経常利益283,251千円（同157.9%増）、当期純利益261,900千円（同491.3%増）を見込んでおります。

なお、当社はフィットネス関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。また、2025年11月期の業績予想については、2024年12月から2025年6月までの確定損益に、2025年7月から2025年11月までの見込み数値を見積もり、合算して算定しております。

2. 業績予想の前提条件

(1) 売上高

当社の売上高は、パーソナルトレーニング収入及びスクール収入、物販収入、その他収入により構成されます。

パーソナルトレーニング収入については、既存店舗について当期の実績を基に店舗毎に新規入会者数を考慮した会員数・トレーニング数を見積もり、会員単価を乗じて算出しております。新規店舗については、直近の類似店舗の実績を基に新規入会者数、会員数を見積り、会員単価を乗じて算出しております。スクール収入については、生徒数を見積もり、授業料を乗じて算出しております。物販収入は当期の直前の販売実績を基に、算出しております。

以上の結果、2025年11月期の売上高は、店舗数が7店舗増加したことにより、パーソナルトレーニング収入、物販収入ともに増加を見込み、2,947,974千円（前期比20.1%増）を見込んでおり、当該売上の内訳は、パーソナルトレーニング収入2,652,859千円、スクール収入71,934千円、物販収入182,297千円、その他収入40,883千円を見込んでおります。

(2) 売上原価、売上総利益

売上原価の内訳は主に人件費とスタジオ等の地代家賃により構成されます。

人件費は主にトレーナーの人事費であり、直近の在籍者数に加え人員計画に基づく入社人員数と離職率に基づく退職人員数を見込んで算出しております。

地代家賃は契約内容に基づき算出し、その他の経費は、直近実績に基づき積上げて見積もっております。

以上の結果、2025年11月期の売上原価は1,758,711千円（前期比13.7%増）、売上総利益は1,189,263千円（前期比31.0%増）を見込んでおります。

(3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費の内訳は、主に人件費、支払手数料及び広告宣伝費により構成されます。

人件費は主に本部部門の人員の給料手当、法定福利費等であり、直近の実績に基づいて算出した結果、188,849千円（前期比11.9%増）を見込んでおります。

支払手数料は、クレジット手数料等であり、想定された収入に基づき見積もり、その他の支払手数料は直近の実績に基づいて算出した結果、78,665千円（前期比15.0%増）を見込んでおります。

広告宣伝費は、主に会員獲得を目的としたWEB広告費であり、集客計画に基づき媒体別に算出した結果、528,660千円（前期比17.1%増）を見込んでおります。

以上の結果、2025年11月期の販売費及び一般管理費は898,929千円（前期比13.1%増）、営業利益は290,333千円（前期比157.1%増）を見込んでおります。

(4) 営業外収益・費用、経常利益

営業外収益は受取利息等であり、5,739千円（前期比24.2%増）を見込んでおります。

営業外費用は支払利息、上場関連費用等であり、12,821千円（前期比66.6%増）を見込んでおります。

以上の結果、2025年11月期の経常利益は283,251千円（前期比157.9%増）を見込んでおります。

(5) 特別利益・損失、当期純利益

特別利益及び特別損失は見込んでおりません。

法人税等は課税所得見込みから法人税、住民税及び事業税、税効果を見積もって法人税等調整額を算定しております。

法人税等調整額が多額のマイナスとなった主な要因は、将来の課税所得見込みに基づいて、賃上げ促進税制の繰越控除制度による将来の税金費用削減効果を見積もり、繰延税金資産を82,633千円計上したことによるものです。

以上の結果、2025年11月期における当期純利益は261,900千円（前期比491.3%増）を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

以上



2025年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年12月12日

上場会社名 株式会社フィットクルー

上場取引所 東

コード番号 469A URL <https://fitcrew.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鹿島 紘樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 矢野 佑樹

TEL 06 (6131) 9937

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無: 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年11月期第3四半期の業績 (2024年12月1日～2025年8月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第3四半期	2,127	—	152	—	149	—	155	—
2024年11月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年11月期第3四半期	円 銭 164.63	円 銭 —
2024年11月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2024年11月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年11月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年11月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 2025年11月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 当社は、2025年8月22日付で、A種優先株主及びA1種優先株主による株式取得請求権の行使を受けたことにより、全てのA種優先株式及びA1種優先株式を自己株式として取得し、対価として当該A種優先株式及びA1種優先株式1株につき普通株式1株を交付しております。
- また自己株式となるA種優先株式及びA1種優先株式の全てについて、2025年8月22日開催の取締役会決議により同日付で消却しておりますが、前事業年度の期首に当該株式転換が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年11月期第3四半期	百万円 1,800	百万円 505	% 28.1
2024年11月期	1,820	350	19.2

(参考) 自己資本 2025年11月期第3四半期 505百万円 2024年11月期 350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年11月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2025年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年11月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年11月期の業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	2,947	20.1	290	157.1	283	157.9	261	491.3	277.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年11月期 3 Q	965,487株	2024年11月期	965,487株
2025年11月期 3 Q	20,000株	2024年11月期	20,000株
2025年11月期 3 Q	945,487株	2024年11月期 3 Q	－株

(注) 1. 2024年11月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。

2. 2025年8月22日付で、A種優先株主及びA1種優先株主による株式取得請求権の行使を受けたことにより、全てのA種優先株式及びA1種優先株式を自己株式として取得し、対価として当該A種優先株式及びA1種優先株式1株につき普通株式1株を交付しております。

また自己株式となるA種優先株式及びA1種優先株式の全てについて、2025年8月22日開催の取締役会決議により同日付で消却しておりますが、前事業年度の期首に当該株式転換が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式含む）及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページの「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境及び企業収益の改善などにより、国内景気は緩やかな回復基調が続く一方、欧州や中東での紛争による原材料価格高騰、物価上昇及び、米国大統領による関税引き上げなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は「フィットネスで社会を明るくする」を企業理念として掲げ、パーソナルトレーニングを通じて、お客様のお悩みに向き合い、お客様と一緒に改善に取り組み、心身共に健康で笑顔溢れる社会づくりに貢献すべく事業活動に取り組んでおります。企業理念を実現するため、当社の存在意義を「顧客の望みを叶える」とし、女性専用のパーソナルトレーニングジム「UNDEUX SUPERBODY」を4店舗、より幅広い層に訴求するサービス形態であるパーソナルトレーニングジム「UNDEUX SUPERBODY LIFE」を2店舗、健康を意識する全ての人が通えるパーソナルトレーニングジム「Dr. plus Fit」を1店舗、合計7店舗の新規出店を行い、当第3四半期会計期間末時点の総店舗数は49店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,127,326千円、営業利益は152,101千円、経常利益は149,677千円、四半期純利益は155,658千円となりました。

なお、当社の事業は、フィットネス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末と比べて76,393千円減少し、986,273千円となりました。これは主に、売掛金が157,565千円増加したものの、現金及び預金が241,191千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比べて55,959千円増加し、813,934千円となりました。これは主に、建物附属設備が40,595千円、繰延税金資産が44,820千円増加したものの、建設仮勘定が30,827千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末と比べて104,056千円減少し、752,394千円となりました。これは主に、契約負債が44,015千円、未払費用が23,945千円、未払法人税等が23,154千円、短期借入金が15,700千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比べて72,035千円減少し、541,940千円となりました。これは主に、資産除去債務が11,795千円増加したものの、長期借入金が70,352千円、繰延税金負債が11,620千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べて155,658千円増加し、505,872千円となりました。これは、四半期純利益を155,658千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等は、当社が発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年11月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	816,384	575,193
売掛金	164,571	322,136
商品	27,135	36,012
貯蔵品	560	699
前渡金	7,653	10,477
前払費用	46,757	41,933
その他	—	721
貸倒引当金	△396	△900
流動資産合計	1,062,666	986,273
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	486,980	527,576
工具、器具及び備品（純額）	17,534	17,053
リース資産（純額）	8,394	6,745
建設仮勘定	30,827	—
有形固定資産合計	543,736	551,374
無形固定資産		
ソフトウエア	716	924
ソフトウエア仮勘定	—	1,320
無形固定資産合計	716	2,244
投資その他の資産		
出資金	55	55
長期前払費用	29,115	25,365
差入保証金	184,352	190,074
繰延税金資産	—	44,820
破産更生債権等	3,107	3,016
貸倒引当金	△3,107	△3,016
投資その他の資産合計	213,522	260,316
固定資産合計	757,975	813,934
資産合計	1,820,642	1,800,208

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年11月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	—	10,671
短期借入金	15,700	—
1年内返済予定の長期借入金	112,584	100,260
リース債務	2,155	2,222
未払金	189,011	185,700
未払費用	71,178	47,232
未払法人税等	46,018	22,864
未払消費税等	48,193	39,236
契約負債	357,019	313,003
預り金	14,587	18,465
賞与引当金	—	12,737
その他	3	—
流動負債合計	856,451	752,394
固定負債		
長期借入金	443,569	373,217
リース債務	6,364	4,688
資産除去債務	151,769	163,564
繰延税金負債	11,620	—
その他	654	470
固定負債合計	613,976	541,940
負債合計	1,470,427	1,294,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	48,000	48,000
資本剰余金	248,709	248,709
利益剰余金	77,504	233,162
自己株式	△24,000	△24,000
株主資本合計	350,214	505,872
純資産合計	350,214	505,872
負債純資産合計	1,820,642	1,800,208

(2) 四半期損益計算書

(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

当第3四半期累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	
売上高	2,127,326
売上原価	1,296,373
売上総利益	830,953
販売費及び一般管理費	678,851
営業利益	152,101
営業外収益	
受取利息	884
受取配当金	1
助成金収入	1,243
ポイント収入額	2,529
その他	90
営業外収益合計	4,750
営業外費用	
支払利息	5,625
その他	1,548
営業外費用合計	7,174
経常利益	149,677
税引前四半期純利益	149,677
法人税、住民税及び事業税	50,460
法人税等調整額	△56,440
法人税等合計	△5,980
四半期純利益	155,658

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

当第3四半期累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	
減価償却費	58,226千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社の事業は、フィットネス関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。